

# 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用基本構想について

令和7年8月25日  
仙台市建設局百年の杜推進課

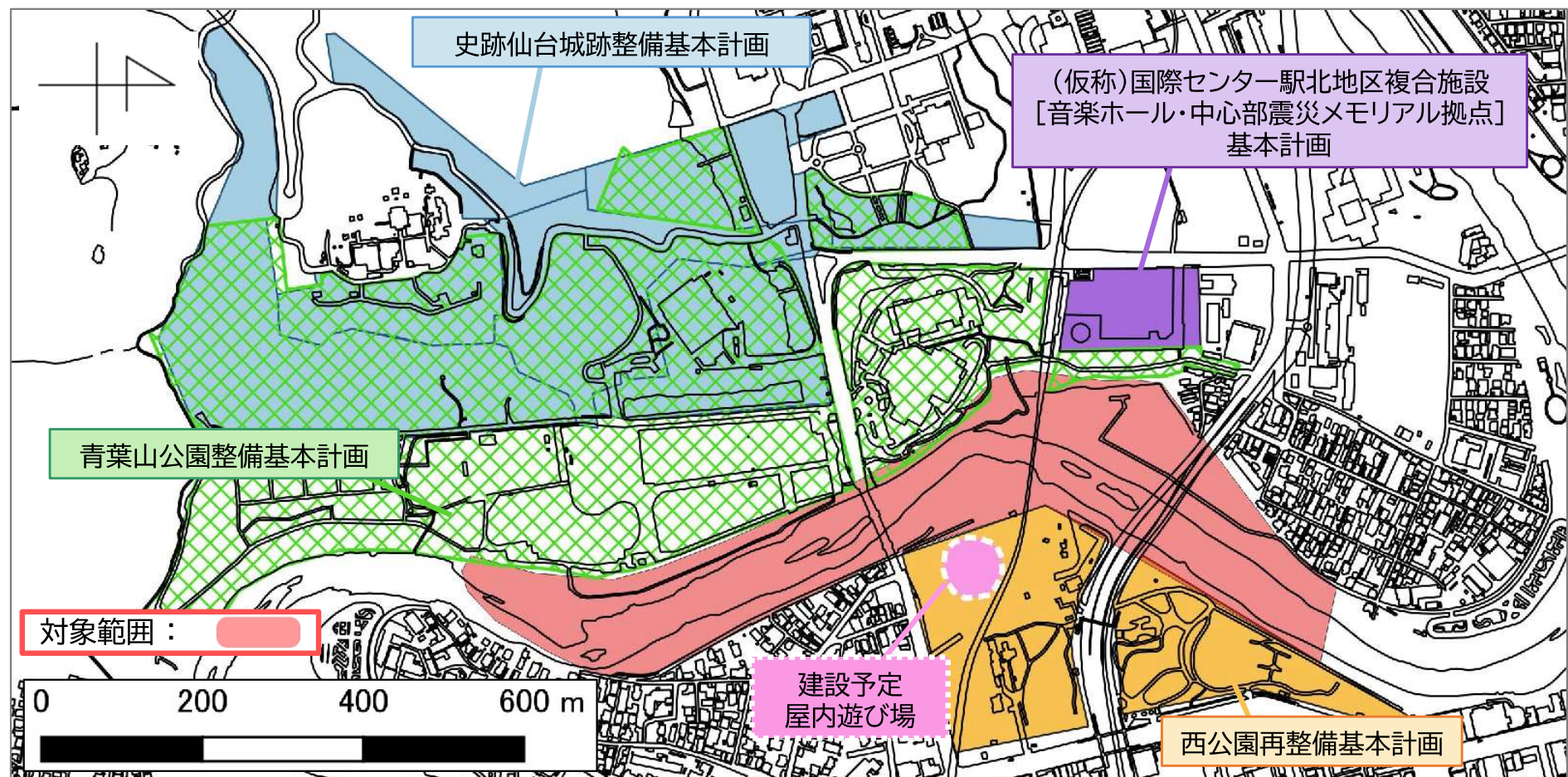
## 1. 基本構想の位置づけ

### (1) 基本構想の概要

広瀬川を含む青葉山周辺は、仙台の始まりの地ともいえる場所であるとともに、仙台市基本計画において国際学術文化交流拠点として、重要な拠点として位置付けられている。また、仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョンでは、青葉山エリアの価値・魅力・回遊性の向上を図ることとされている。

広瀬川に架かる大橋周辺では、青葉山公園の整備や西公園の再整備、複合施設、屋内遊び場の整備といった大きなプロジェクトが進行している。広瀬川沿いで進行するプロジェクトやまちづくりの取り組みなどとの連携や情報の共有を行いながら、青葉山エリアにおける新たな魅力の創出や都心部との回遊性向上を図り、同エリアのにぎわいを創出していくため、広瀬川における水辺の利活用方針を示す。

### (2) 対象範囲



基本構想対象範囲及び周辺の関連計画

## 2. 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用に向けた基本理念(コンセプト)

### ●基本理念(コンセプト)

# 青葉山エリア“Water Garden” ～未来へつなげる広瀬川水辺空間の創出～

杜の都仙台の母なる川、「広瀬川」は、幾多の文化と歴史をはぐくみながら、市民の生活に潤いのある調和をもたらしてきました。  
中でも大橋周辺は、歴史・文化・学術・自然などの資源が集積する「青葉山」と、にぎわいをもたらす「まち」とが、川の清流を介して融合することを感じ取れる特別な場所です。  
この地域の資源を大切にしながら、周辺施設などを巡る回遊性の向上を図り、水辺を活用した憩いや遊び、学びを体験できる身近な交流の場所として設え、「みんなで使い、みんなで育てる仙台の水辺の庭」となるような、本市の新たな水辺空間を創出し、次世代へ繋いでいきます。

### ●基本方針

基本理念を踏まえ、以下の4つの基本方針を定め、広瀬川の大橋周辺で進められるプロジェクトと連携しながら、広瀬川の持つ自然環境や歴史・文化を守り、広瀬川の新たな魅力を創出します。

#### 水辺を「巡る」

大橋を中心とした回遊性の向上を図り、新たな交流と発見を創出します。



水辺散策

#### 水辺を「学ぶ」

川への関心・意識を醸成するため、自然や歴史、文化などに触れる学びの場を創出します。



自然観察・水辺の利用

#### 水辺で「憩う」

美しい自然環境を活かした憩いの空間を創出します。



原っぱ・芝生で休息

#### 水辺で「遊ぶ」

こどもから大人までの幅広い世代が訪れ、交流する遊びの空間を創出します。

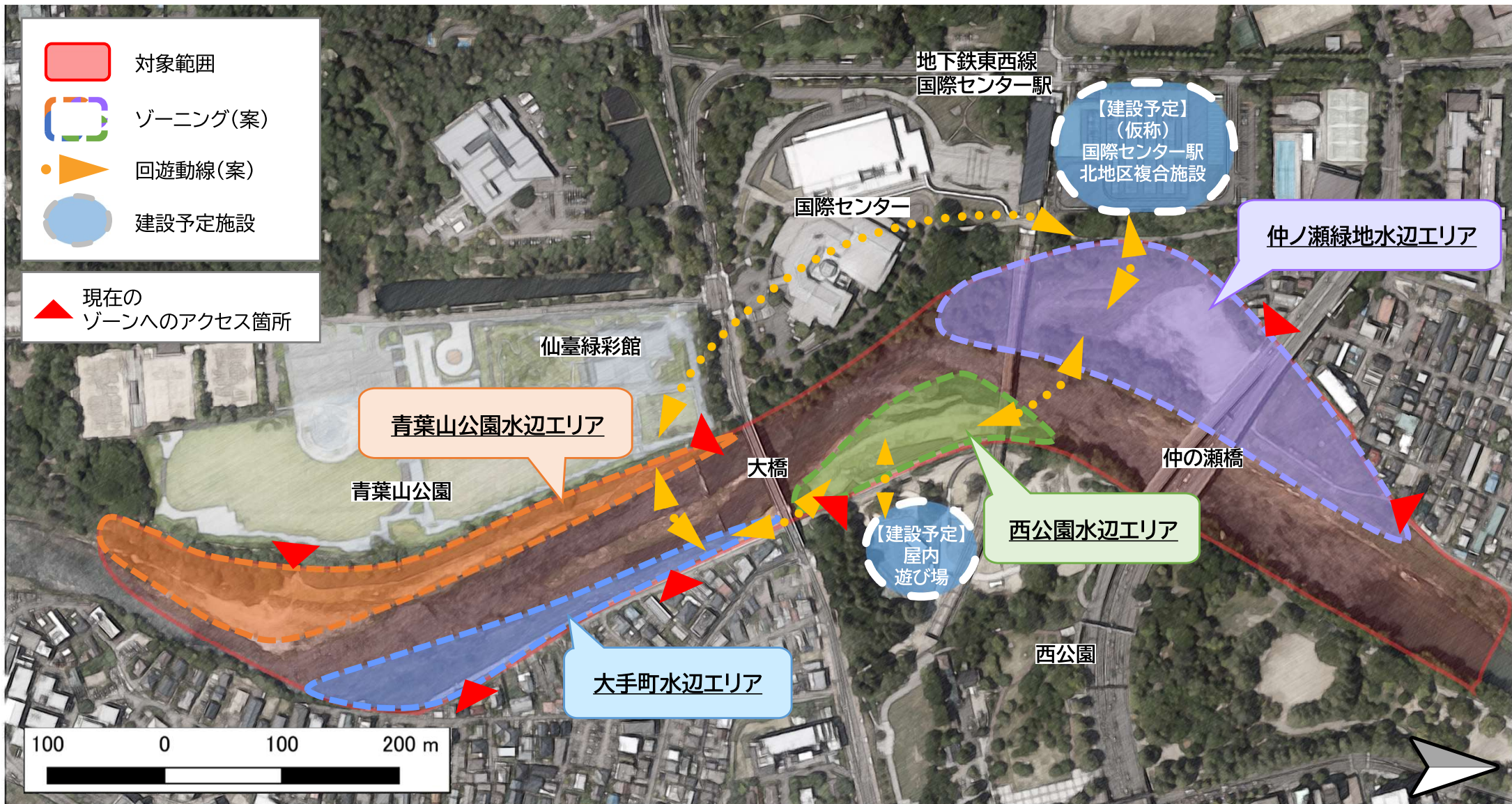


水上レクリエーション



イベントでの利活用

### 3. 水辺利活用のゾーニング(案)



## 4. 水辺利活用の方向性

### 1. 青葉山公園水辺エリア

・利活用および整備の方向性(案): ～歴史・文化を感じられる水辺空間の創出～

石垣等歴史を感じられる散策路や青葉山公園と一体的な空間を創出し、水辺に近づく親水施設等により水辺に親しむ



#### 整備の考え方

- ①水辺空間の回遊性向上に向けた動線整備
- ②歴史的資源の顕在化と学びの場の提供
- ③歴史的景観と自然環境の調和的管理

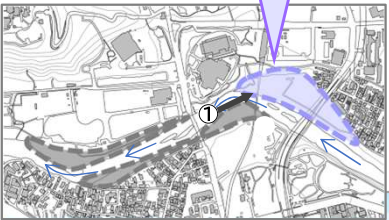


## 4. 水辺利活用の方向性

### 2. 仲ノ瀬緑地水辺エリア

#### ・利活用および整備の方向性(案)：～周辺施設との連携による交流空間の創出～

“桜の小径”から直接水辺に近づくことのできるアクセス路や広瀬川仲ノ瀬緑地の広場や親水施設等により水辺に親しむ



#### 整備の考え方

- ①水辺へのアクセス性向上
- ②親水空間と自然を感じる滞在空間の創出
- ③植生管理による眺望と自然の調和
- ④周辺施設との連携・交流空間としての活用



## 4. 水辺利活用の方向性

### 3. 大手町水辺エリア

・利活用および整備の方向性(案): ～水辺へのアクセス性の向上により日常的に訪れたいくなる憩い空間の創出～  
散策路や、水辺に近づく親水施設等により水辺に親しむ



#### 整備の考え方

- ①水面への親しみやすさの向上
- ②対岸景観を活かしたビューポイントの整備
- ③景観の質を高める護岸や親水空間の整備
- ④植生管理による眺望と自然の調和



## 4. 水辺利活用の方向性

### 4. 西公園水辺エリア

・利活用および整備の方向性(案): ～こどもから大人まで誰もが憩い、五感を育む遊び空間の創出～

西公園や建設予定の屋内遊び場と一体利用できるように連続性を確保し、広場や散策路等、  
気軽に水辺に近づき自然と触れ合える環境を整える



#### 整備の考え方

- ①西公園・屋内遊び場との一体的な活用
- ②日常的な水辺体験の場の創出
- ③水辺利活用を促進する空間整備
- ④水辺環境の保全と自然との共生



## 5. 基本計画策定に向けて

広瀬川は、仙台市を象徴する貴重な水辺空間であり、本構想では河川敷のゾーニングに基づき、エリアごとの「利活用および整備の方向性」とそれを実現するための「整備の考え方」を整理した。本構想で定めた水辺利活用のコンセプト「青葉山エリア“Water Garden”～未来へつなげる広瀬川水辺空間の創出～」の実現に向けて、今後は河川管理者や関係部局と協議・連携し、また地域住民とも意見を交わし、下記に留意しながら、より具体的に検討を深めていくこととする。

### 【主な留意事項】

#### ●安全管理、維持管理について

- ・親水性の向上と安全性の確保はトレードオフの関係にあり、洪水時の安全確保に向けた検証や水質の確認を行う必要がある。  
⇒親水性と安全性のバランスが取れた整備に向けて、周辺施設関係者や管理者との協議・調整が必要

#### ●河川管理者との協議について

- ・水辺空間の回遊性や親水性を高めることを目的とした「飛び石」や「沈下橋」などの河川横断施設の設置に向けた検証を行う必要がある。  
(※検討会やワークショップで設置を望む声あり)  
⇒流況の変化や安全性の確保、施設維持管理の問題などを総合的に判断した上で、河川管理者との協議・調整が必要

#### ●周辺施設との連携及び維持管理体制について

- ・青葉山公園や西公園、屋内遊び場、複合施設といった周辺の公共空間との連携を見据えた管理・運営体制の構築が必要となる。  
⇒多様な利用者ニーズへの対応や持続可能な水辺空間の整備に向けて、周辺施設関係者や管理者との協議・調整が必要

#### ●案内板の設置について

- ・周辺施設や公共空間との回遊性向上に向けた案内看板の設置が必要である。  
⇒誰もが水辺に近付き広瀬川を巡れるよう、周辺施設と連携しながら適切な案内看板の設置検討が必要

## 6. 今後のスケジュール

|                | R6       | R7       | R8 | R9 | R10 | R11 |
|----------------|----------|----------|----|----|-----|-----|
| 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用 | 基本<br>構想 | 基本<br>計画 | 設計 | 工事 |     |     |

※本編掲載HPはこちら

